

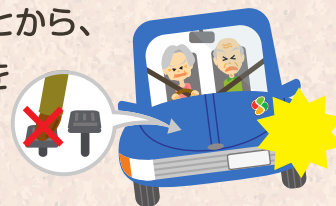
ひまわり

第23号

2020年3月発行

高齢者・子ども・みんな 一人ひとりがしあわせな社会へ

近年、高齢ドライバーによる自動車事故が相次いでいることから、今回の情報紙「ひまわり」では、「ドライバーアンケート」調査を松阪市在住の20歳代～80歳代の方に行い185人の方から回答をいただき、みなさんのご回答・ご意見をまとめました。



松阪市の現状

松阪市内の運転免許保有者数(総数)……………113,062人

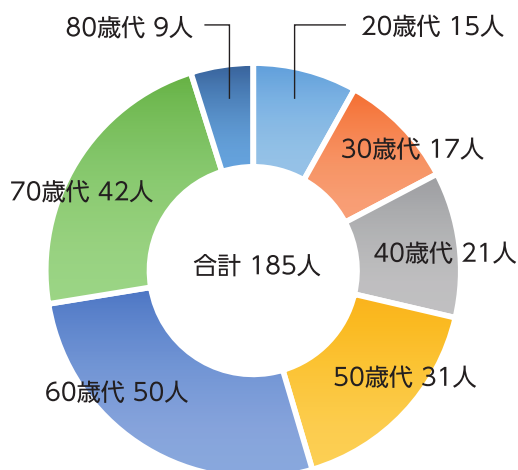
高齢者運転免許保有者数(65歳以上)……………29,949人

松阪市内	運転免許証自主返納者数(総数)	高齢者運転免許証自主返納者数(65歳以上)
平成28年	277人	267人
平成29年	625人	600人
平成30年	567人	544人
令和元年	830人	811人

資料: 松阪警察署(令和元年12月末現在)

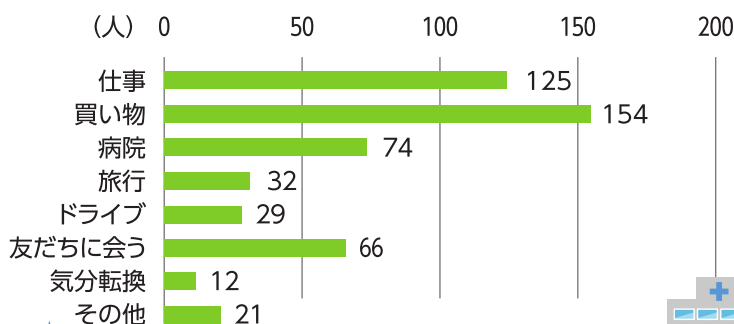
あなたの年齢は何歳代ですか?

年代別回答者数



運転する場合は、主にどのような時が多いですか?(複数回答可)

運転する場合の主な用途



アンケート結果より

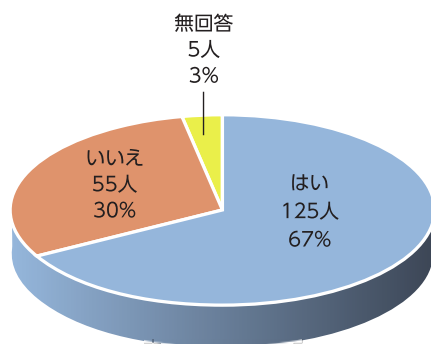
60歳代、70歳代の方は、病院への交通手段に必要不可欠という回答が多くみられました。





将来、運転免許証返納はお考えですか？

将来的な運転免許証返納の考え



アンケート結果より

免許証返納意識が7割近くと高い一方で、実際返納した後の不便さを考えると、返納をためらっている方も多くみられました。

「はい」の理由

- 事故を起こして家族や他の人に迷惑をかけたくないから
- 自分が思っている以上に反射神経が鈍くなり、運転能力が衰えるだろうから
- 最近、高齢者の事故が多いから
- 高齢者になれば判断力の衰えは明らかで、自信がないから

「いいえ」の理由

- 車なしでは生活できないから
- 交通の便が悪いので生涯必要だから
- 行動範囲が狭くなるから
- 安全第一に運転しているから
- 仕事で必要だから

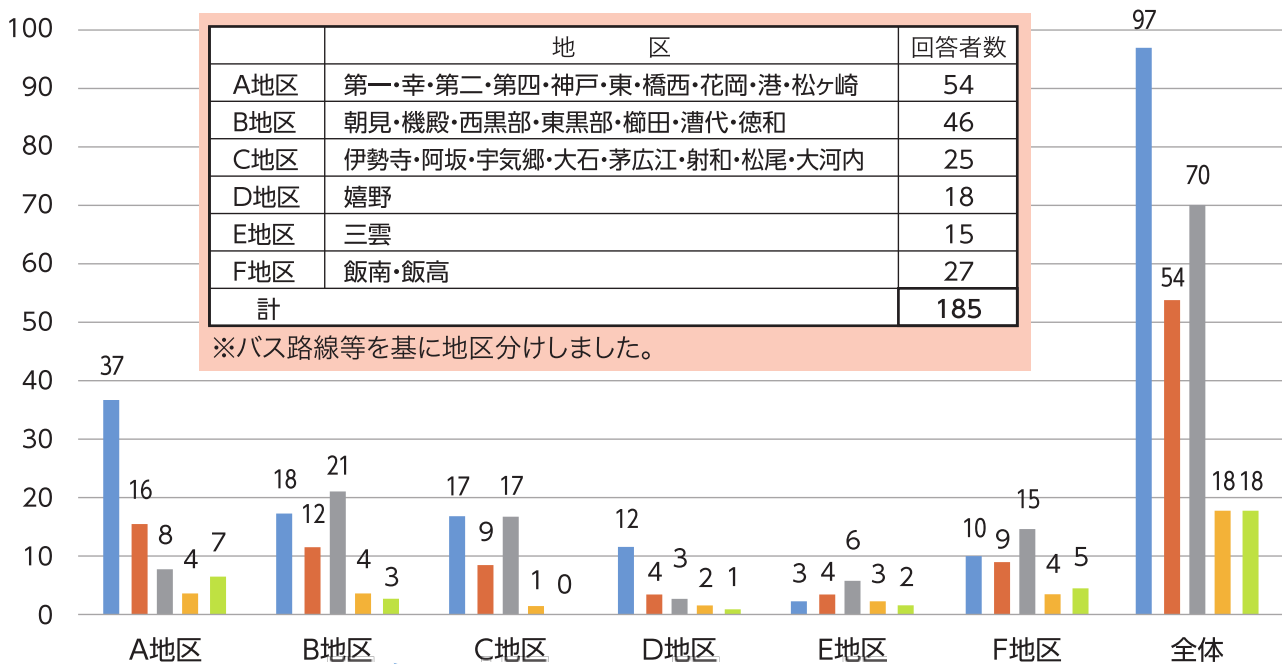


返納後の交通手段はどうしますか？（複数回答可）

返納後の交通手段（地区別）

■ 公共交通機関を利用 ■ 家族に頼む ■ 交通手段が無くなる ■ その他 ■ 無回答

(人)



アンケート結果より

全体で、「公共交通機関を利用」が多いが、B・C・E・F地区では「交通手段が無くなる」という回答のほうが多くみられました。

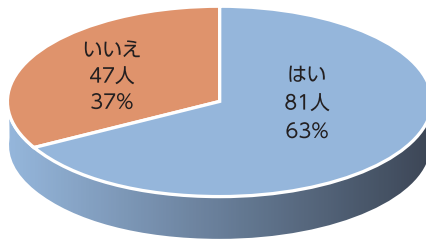


ご家族に運転免許証の返納をされた方、または返納をお考えの方にお聞きました。



ご家族が運転免許証を返納された場合、交通手段の支援ができますか？

返納後の支援の可否



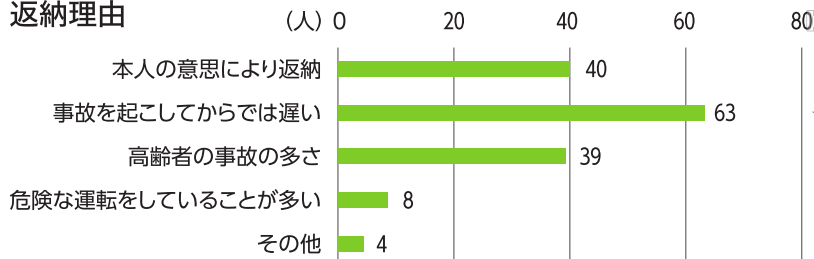
アンケート結果より

6割以上の方が「はい」と回答してみえますが、自分の生活もあり、仕事や子育て等で忙しいなか、支援はなかなか難しいようです。



返納した（返納を考えている）理由は何ですか？（複数回答可）

返納理由



その他の意見

- 車検のタイミングで、本人納得の上で返納しました。
- 子どもに言われたから返納しました。
- 病気で視野が狭くなったため返納しました。
- 免許証更新の時に適性検査の結果が思わしくなかったから。

その他のご意見

- 高齢者の運転事故などにより、免許の返納が増えたりするのは良いが、車がないと交通手段がない方、地域もたくさんあるので、返納後の行政のサービスを充実したらいいのではないかと思います。（全地区）
- 60歳後半の二人暮らしでは、将来とても不安。二人とも返納した場合、過疎地の生活は無理かと思う。（F地区）
- 運転者自身の自覚がないとなかなか免許の返納は難しい。説得するのに苦心した。公共交通機関の充実に期待する。（A地区）
- 親と一緒に住んでいないので、親が免許を返納しても助けてあげられない。市民バスの路線を増やしてほしい。（A地区）
- 返納当時の不便さは、慣れるまでが大変です。精神的なストレスは大きいです。（A地区）
- 返納した方がよいと思うけど、不便になるので迷っています。（B地区、F地区）
- 事故ではなかったのですが、こわい思いをしたので、76歳になりましたし、免許返納しました。（F地区）
- 山間地での生活は自由に動ける車がないと、とても不自由になります。特に食品や日用品の買い物、病院の受診などの際です。高齢化社会に向かい、少しでも良い方向にいくように考えてもらいたいです。（F地区）
- 松阪市は、免許返納でバスが半額になるが、タクシーも半額にすれば返納する人が増えるのでは？祖父は90歳まで車を運転していました。車に乗れないと困ると言い、乗り続けていました。車はよくぶつけていましたし、人を巻き込む事故をよく起こさなかったなあと思います。家族がどれだけ返納をすすめても、本人が納得しなければ返納は難しいと思います。私は、両親が車に乗れなくなったら買い物や通院のサポートはしっかりしたいと考えています。（A地区）
- 本当は、70歳で返納したいが、公共交通機関（バス）を利用するにも不便、高い、便が少ない、距離がある。
→ 外出の機会が減ってしまう。（A地区）
- 高齢になった際には、家族に心配かけることのないように返納の時期を考えて、自分から行動したい。（C地区）



運転免許証を自主返納された方、ご検討の方へ

バス運賃が半額になるお得な割引があることをご存知ですか？

松阪市では、運転免許証自主返納者を対象に、市が運営するすべての路線バス運賃が半額になる割引を実施しています。三重交通の路線バスも同様の割引があります。
※詳しくは、商工政策課（☎53-4184）までお問い合わせください。

対象路線	割引内容	割引対象者	利用方法内容
松阪市運営バス路線(全路線) ★詳細は下記の路線名を参照	運賃半額	運転経歴証明書※をお持ちの方と同伴者(ご家族・ご友人)1名まで (年齢制限なし)	運賃支払い時に運転経歴証明書※を提示
三重交通グループ路線 (高速バス・リムジンバスを除く)			

※運転経歴証明書の取得方法については、運転免許センターまたは松阪警察署にお問い合わせください。

★松阪市運営バス路線名

鈴の音バス「市街地循環線」	機殿・朝見地区コミュニティバス
鈴の音バス「幸中央線」	飯高波瀬・森コミュニティバス「たかみ」
鈴の音バス「三雲松阪線」	飯南コミュニティバス「ほほえみ」
鈴の音バス「大口線」	宇気郷地区コミュニティバス「飯福田・柚原線」
嬉野地区コミュニティバス「おおきんバス」	廃止代替バス「阿坂小野線」
三雲地区コミュニティバス「たけちゃんハートバス」	廃止代替バス「宇気郷線」
黒部・東地区コミュニティバス	

詳しくはこちらのQRコードから



松阪市
運営バス情報
QRコード

令和元年度事業報告

「男女共同参画社会」とは、性別に関わらずお互いに尊重しあい、個性と能力を発揮し、喜びも責任も分かち合うことのできる社会のことです。

男女共同参画週間の啓発

男女共同参画週間(6月23日～29日)に合わせ、松阪ショッピングセンターマームにてパネル展示を開催し、松阪・伊勢中川駅にて街頭啓発を6月24日(月)に実施しました。



三重県内男女共同参画連携映画祭2019「海よりもまだ深く」

令和元年7月6日(土)農業屋コミュニティ文化センターにて上映しました。

参加者は、親子、夫婦の時間の大切さ・考え方の違い、家族のあり方について色々考えさせられたと感想を述べられていました。



男女共同参画さ・し・ず・せセミナー

男女が互いに尊重し合い、心豊かにいきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現を目指し、セミナーを開催しました。

8月21日(水) 「DVの視点から 子ども虐待を考える」講師：堤 順子さん(NPO法人女性と子どものヘルプライン・MIE代表)

9月27日(金) 「あなたの心に寄りそって」講師：谷口 照男さん(エッセイスト)

11月18日(月) 「整理収納 はじめの一步～更に笑顔で暮らしていくために～」講師：須藤 有紀さん(smile home代表)

パープルリボン運動



毎年11月12日～25日までは、「女性に対する暴力をなくす運動」(パープルリボン運動)の期間です。
期間中、市役所総合受付横にて啓発展示を行いました。

男女共同参画松阪フォーラム



家庭・職場・地域等あらゆる場面で、男女が良き未来を描くため、令和2年2月8日(土)第24回男女共同参画松阪フォーラムを農業屋コミュニティ文化センターにて開催しました。

◆発行 松阪市人権・男女共同参画課

〒515-8515松阪市殿町1340番地1 ☎0598-53-4339 Fax0598-22-3533
E-mail:jinkyo.div@city.matsusaka.mie.jp http://www.city.matsusaka.mie.jp

◆企画・編集

松阪市男女共同参画情報紙制作スタッフ
北村真寿美 松浦光義 南 泰代